

ほん おすすめ本を しょうかい ご紹介します

※対象学年はあくまで目安です。

2023

8

月号



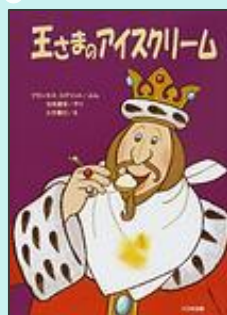
1〜2年生くらいから



なつやすみのぼうけん!

ちいさくたって、おおきいこと
いっしょにキャンプにいける
もん! でもね、まよなかの
トイレはくらくてこわくて…。

『はじめてのキャンプ』
林明子 さく え 福音館書店



アイスクリームが
できちゃった

アイスクリームのなかったころ、
きむずかしい王さまが「さむい
日にはあたたかいクリームを、
あつい日にはつめたいクリーム
をほしい」といいだして!?

『王さまのアイスクリーム』
フランセス・ステリット ぶん
光吉夏弥 やく 土方重巳 え 大日本図書

3〜4年生くらいから



歌がハタでも
いいじゃない!

人魚なのに歌がにがて!
人魚の学校でも笑われていや
になっちゃう。でも、にがてな
はずの歌でみんなを助ける
ことができたよ!

『歌がにがてな人魚』
ルイス・スロボドキン 作 小宮由 訳 瑞雲舎



大切に使い続ける
みじかなもの

お父さんからもらった
机と椅子は古くてボロボロ。
イタリアの小学生マルコは、
職人のところに持って行きます。

『古くて新しい椅子』
中嶋浩郎 文 パオラ・ポルドリーニ 絵 福音館書店

5〜6年生くらいから



生きる力は
このちずにあった

戦争でふるさとから
遠く離れた地についた。
食べるものもない中で、
おとうさんが地図をくれた。

『おとうさんのちず』
ユリ・シュルヴィッツ 作 さくまゆみこ 訳 あすなろ書房



世界最古の
抒情詩

すべて富を得ながらも、
人の心を持たない王が、
人の心を理解して、友を
得ていく物語。

『ギルガメシュ王ものがたり』
ルドミラ・ゼーマン 文 絵 松野正子 訳 岩波書店

